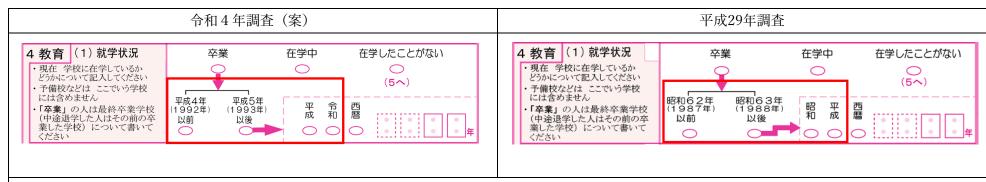
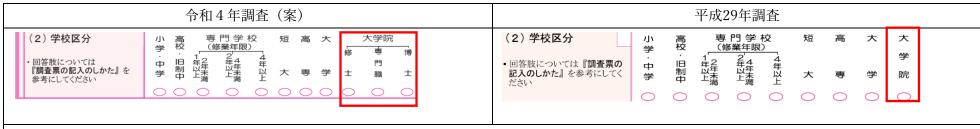
令和4年就業構造基本調査の調査票新旧対照表(案)





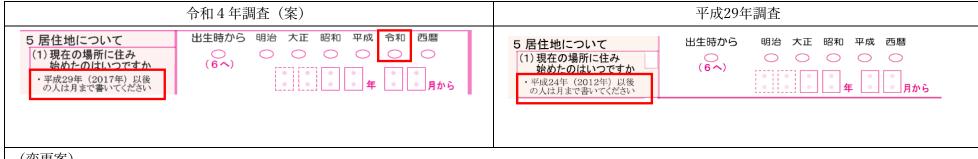
- ・調査年の変更に伴い、卒業の記入年を変更
- ・新元号を追加



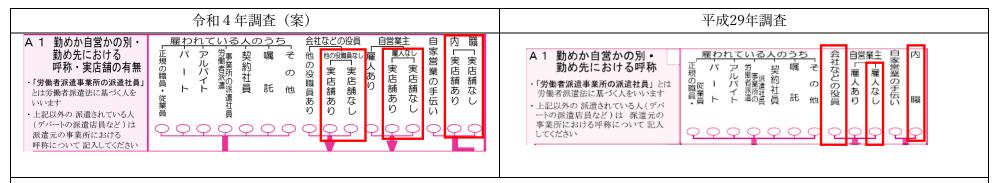
・大学院を修士、専門職、博士の課程毎に細分化

(変更理由)

・「研究力強化・若手研究者支援総合パッケージ」(令和2年1月総合科学技術・イノベーション会議)において、博士人材のキャリアパス拡大が掲げられていることなどから、修士、博士、専門職のぞれぞれの学位の区別による差を把握するため。



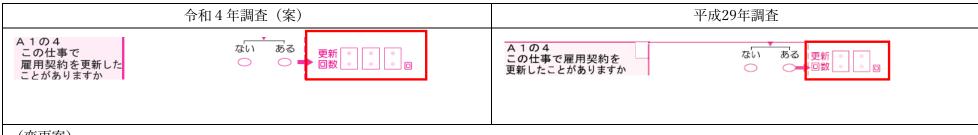
- ・調査年の変更に伴い、居住開始月の記入年を変更
- ・新元号を追加



- ・フリーランス(※)を捉えるため、会社などの役員に「他の役職員の有無」を追加し、更に会社などの役員、自営業主、内職で「実店舗の有無」を追加 ※フリーランスの要件は、
 - ・雇人のいない自営業主(自営業主のうち雇人なし及び内職)又は一人社長(会社などの役員のうち他の役職員なし)
 - ・実店舗がない
 - ・農林漁業従事者ではない
 - の3要件に該当するものをいう

(変更理由)

・フリーランスの保護制度の在り方については、多様で柔軟な働き方を後押しする観点から、健全な発展に向けて取り組んでいくべき課題とされており、 関係省庁が連携したガイドラインが策定されるなど、今後、更に拡大していく働き方と想定されることからその実態を把握する必要があるため。



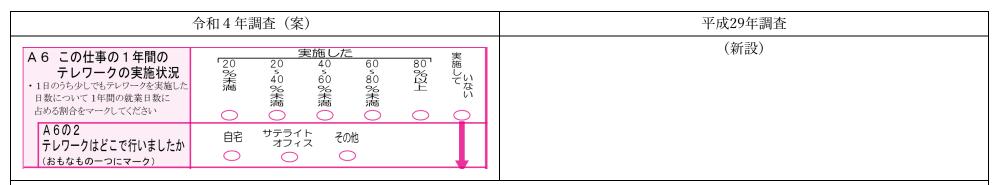
・平成29年調査において、雇用契約の更新回数が3桁ある場合の記載方法について問合せがあったことから、3桁での回答を可能にするよう変更



・1週間の就業時間を選択式から記述式に変更

(変更理由)

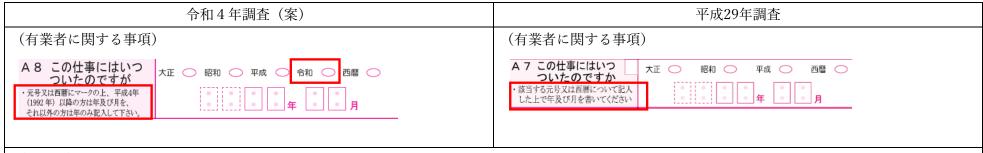
・残業時間の上限規制などの働き方改革や副業の促進に伴う本業と副業を合わせた労働時間管理など、労働時間に関する統計ニーズに柔軟に対応できるようにするため。



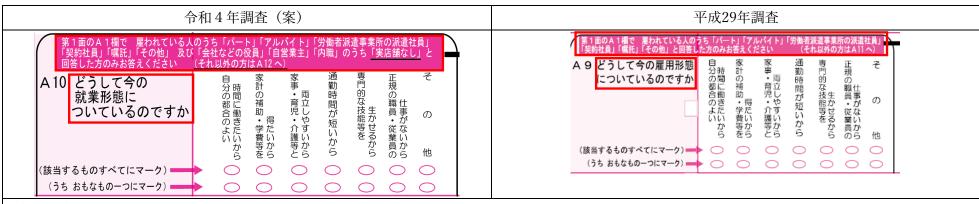
・テレワークの実施の有無・頻度及び実施形態を追加

(変更理由)

・働き方改革の推進や、新型コロナウィルス感染拡大防止対策の一環としてテレワークが強く推奨されたことなどに伴い、テレワークの普及が進んだこと から、テレワークによる就業への影響を把握する。



- ①集計への影響の少ない31年以上(※)については「月」の記入を不要にすることにより報告者の負担軽減 ※平成29年調査では、当該項目を使い継続就業期間を算出しているが、集計は30年以上で表章している
- ②新元号を追加



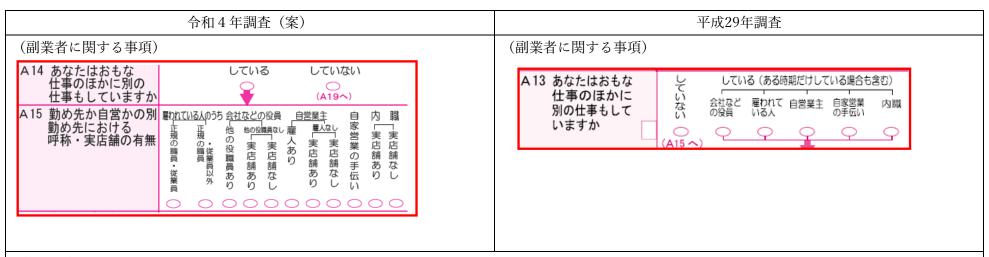
- ・平成29年調査において対象とした「非正規の職員・従業員」に加え、フリーランスに対しても、今の就業形態についている理由を把握 (変更理由)
- ・今後、更に拡大していく働き方と想定されるフリーランスについて、その増加の背景(本意か否かなど)や育児・介護との関係を把握するため。

令和4年調査(案)	平成29年調査
(転職希望者及び追加就業希望者に関する事項)	(新設)
A12 の3 どのような種類の 仕事(職種)に つきたいのですか (おもなもの一つにマーク) 製 建輸 営 サ 専 管 事 農 保 運 仕	

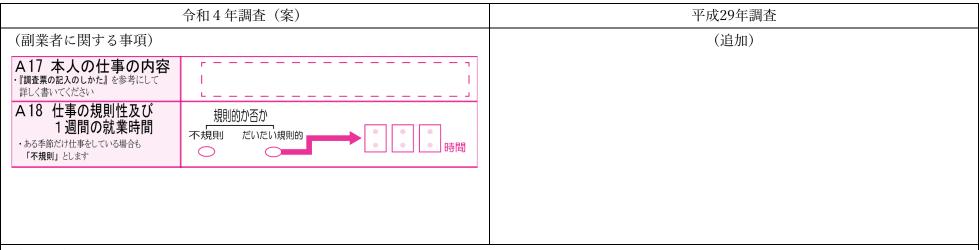
・転職希望者及び追加就業希望者の希望する職業を追加

(変更理由)

・雇用の流動化(副業の促進など)を踏まえ、労働供給がどの分野でどの程度あるのかを把握するため。



- ・副業の従業上の地位・雇用形態をより詳細に把握するため、選択肢を細分化 (変更理由)
- ・副業の促進などが図られている中で、副業の従業上の地位・雇用形態を本業の従業上の地位・雇用形態に近づけることにより、副業の実態をより詳細に把握するとともに、副業と本業との関係をより詳細に把握するため。



- ・副業者の職業の把握
- ・副業者の仕事の規則性の把握
- ・副業者の週間就業時間の把握

(変更理由)

・副業の促進などが図られている中で、副業の職業、仕事の規則性、1週間の就業時間を、本業と同様に把握することにより、副業の実態をより明らかにすることが出来るため。



・「1年前は何をしていたのですか」の削除

(変更理由)

・1年前との就業異動状況ではなく、1年間の就業異動状況を把握することにより、雇用の流動化をより的確に把握するため。 なお、行政機関及び地方公共団体からは、当該項目の削除に関して支障がないことを確認済み。

令和4年調査(案) 平成29年調査 (無業者に関する事項) (無業者に関する事項) * 専門的 · 技術的職業 B3 どのような種類の 製造・ 生産工程職 建設・採掘職 輸送· 機械運転職 営業・販売職 その他(保安職など) ソービス職業 仕事(職種)に 推 ・包 のだ 清装 種かい 掃等 類っな にてい 務 漁 つきたいのですか 安 業職 (おもなもの一つにマーク) 職 ・回答肢については『調査票の記入 のしかた』を参考にしてください 『調査票の記入のしかた』を 参考にしてください 00000 00000000

- ・「その他(保安職など)」を「保安職」、「運搬・清掃・包装等職」に分割 (変更理由)
- ・新型コロナウィルス感染拡大防止の環境下において、運搬業が増加していることが想定されていることから、当該分類を新設。これにより、職業大分類 別での把握が可能となる。



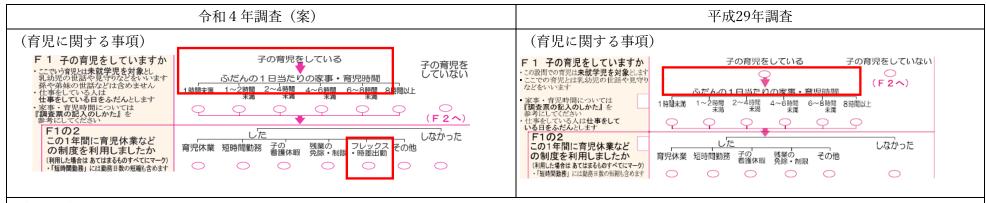
- ・調査年の変更に伴い、前職の離職時期の記入年を変更
- ・新元号を追加

令和4年調査(案)	平成29年調査
(削除)	(前職に関する事項) C 5 前の仕事の雇用契約 期間の定めの有無・ 1回当たりの雇用 契約期間 定めが あった つから ない なかった (定年までの 雇用を含む) 編組を記し、 第2 8 第2 8 8 8 8

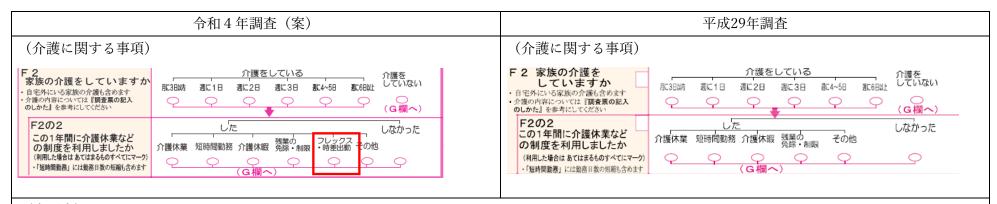
- ・「前職の雇用契約期間の定めの有無、1回当たりの雇用契約期間」の削除(変更理由)
- ・当該項目を利用している統計表のアクセス件数が少なくニーズが低いことから、今回新たに追加する事項との優先順位に鑑み削除。 なお、行政機関及び地方公共団体からは、当該項目の削除に関して支障がないことを確認済み。



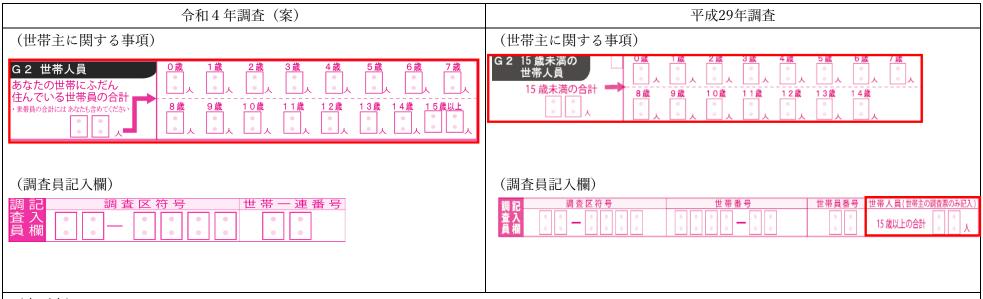
- ①初職に就いた時期について、平成3年以前に初職に就いた者については「月」の記入を不要とする
- ※相当の期間が経過している過去の就業開始時期について「月」まで記入することは困難であるという意見を踏まえて、「月」まで把握する期間を「A8 この仕事にはいつついたのですか」の設問と同様に過去30年間に変更する。
- ②新元号を追加



- ・「子の育児をしている」の記入を不要とする
- ・育児休業などの制度における「その他」から「フレックス・時差出勤」を分割 (変更理由)
- ・諮問第96号(就業構造基本調査の変更について)の答申(平成28年統計委第10号)において、今後の課題として、「就業構造の実態を把握する上で育児・介護の重要性が高まっており、今回の平成29年調査でも、関連する調査事項につき見直しを行った。次回調査(平成34年調査)へ向けても引き続き、就業に与える育児・介護の影響につき、より的確に把握するための検討を行うこと。」とされている。これに対応するため、介護の調査事項において、介護休業などの制度利用状況の割合が高かった「その他」から「フレックス・時差出勤」を分割することにあわせて、育児についても同様に分割し、就業に与える育児の影響をより的確に把握するため。



- ・介護休業などの制度における「その他」から「フレックス・時差出勤」を分割 (変更理由)
- ・諮問第96号(就業構造基本調査の変更について)の答申(平成28年統計委第10号)において、今後の課題として、「就業構造の実態を把握する上で育児・介護の重要性が高まっており、今回の平成29年調査でも、関連する調査事項につき見直しを行った。次回調査(平成34年調査)へ向けても引き続き、就業に与える育児・介護の影響につき、より的確に把握するための検討を行うこと。」とされている。これに対応するため、介護休業などの制度利用状況の割合が高かった「その他」から、「フレックス・時差出勤」を分割することにより、就業に与える介護の影響をより的確に把握するため。



- ・世帯主が15歳以上世帯人員を記入するように変更 (変更理由)
- ・統計調査を取り巻く環境の変化などにより統計調査員が全ての調査世帯に訪問・説明することが困難となってきている状況を踏まえ、15歳以上の世帯人員について他計(統計調査員による聞き取り)から自計(調査客体による回答)に変更することにより、15歳以上世帯人員をより確実に把握する。